

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 特別養護老人ホーム ジョイフル	階数	地下1F、地上4F
建設地	小田原市酒匂字打越中956番1	構造	RC造
用途地域	準工業地域、防火指定無し	平均居住人員	150 人
気候区分		年間使用時間	8,670 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年9月 予定	評価の実施日	2014年3月8日
敷地面積	3,199 m ²	作成者	隈研吾建築都市設計事務所
建築面積	1,464 m ²	確認日	2014年3月8日
延床面積	6,838 m ²	確認者	隈研吾建築都市設計事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: A: B+: B-: C:

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能

Q1 室内環境

Q3 室外環境(敷地内)

LR1 エネルギー

LR2 資源・マテリアル

LR3 敷地外環境

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.0

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.7

LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合	北側住宅地への日照的配慮から、南側に建物全体を寄せた配置としています。南側からの強い日差しを押える庇群により、室内環境への熱負荷を軽減する計画としています。エントランスには大きなロビーを設け、周辺コミュニティを引き込む仕掛けとしています。	
その他	0	
Q1 室内環境	通常の空冷ヒートポンプパッケージ型空調機による空調方式である。空調ゾーニングや機器吹出位置を考慮しております。	Q2 サービス性能
LR1 エネルギー	庇設置により、外皮負荷の低減をしております。	Q3 室外環境(敷地内)
		路面温度の低減が期待される舗装を採用し、敷地内での路面増加による熱の放射を押さえます。防犯カメラの設置。介護職員へのヒアリングによる計画。
		LR3 敷地外環境
		敷地周囲に緑地帯をめぐらせ、周辺環境への視覚的な連続感を作り出しています。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ライフサイクルCO₂とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される